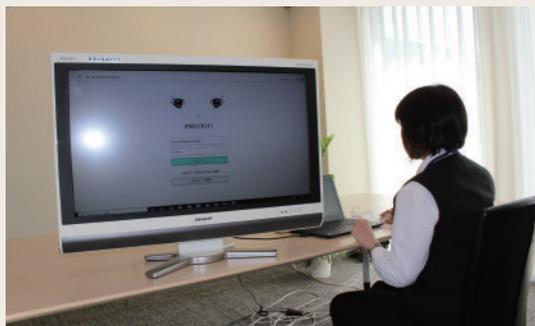


受賞のポイント

- POINT 1 チャットツールなどデジタル化で社内コミュニケーションを改善
- POINT 2 ケアプラン支援「パッチリ」で業務効率を劇的に改善
- POINT 3 2つの課題解決で社員の働きやすさも向上



ケアプラン作成支援ソフト「パッチリ」の画面



「パッチリ」使用中の様子

会社概要

商号：イデアルファード株式会社
 設立：2005年8月
 従業員数：88名
 事業内容：2019年、株式会社未来創造館よりイデアルファード株式会社に商号変更。主に介護福祉サービス、住環境サービスの提供を行う。

お問い合わせ先

イデアルファード株式会社

〒998-0875
 山形県酒田市東町 1-15-25
 TEL：0234-28-0488
 FAX：0234-25-8385
 e-mail：info@mirai-souzoukan.com
 URL：https://idealfaro.com/



TOHOKU DX
 業務プロセス部門
優秀賞
 (TISA 会長賞)

受賞件名

受賞者

イデアルファード株式会社

社内DXで開発されたAIソフト「パッチリ」によって作業時間が1/8に短縮

担当者

齋藤 和哉氏
 小嶋 由美氏
 渡部 雅美氏

AIソフトとデジタルツール活用で業務負担が軽減
 コミュニケーションの質向上にも貢献

DX化で大幅改善
 業務効率向上に成功

受賞理由

- AIソフト「パッチリ」の導入でケアプラン作成が1/8に短縮
- チャットツールの活用で社内コミュニケーションの質向上が実現

イデアルファード株式会社とは？

2019年、株式会社未来創造館よりイデアルファード株式会社に商号変更。主に介護福祉サービス、住環境サービスの提供を行う。医療的ケアと社会的ケアの2つの面からより質の高いケアの提供に邁進。2018年以降社内のDX推進に力を入れ業務プロセスの改善に注力し効率化向上を実現している。



本社外観

事業規模の拡大で生じた2つの課題

主に介護事業を展開するイデアルファード。本社を含む小規模拠点は6か所に及びます。働く従業員はグループ全体で100名程度。日々利用者さんの対応に追われる中、大きな2つの課題がありました。

1つがコミュニケーションの問題です。各事業所において紙ベースや立ち話によって情報の共有がされていたことで、必要な人に情報が正確に伝わらないというコミュニケーションロスが問題に。また月1回、6拠点のリーダーが集まる会議はある

確認が可能に。コミュニケーションの質が向上しました。
ケアプラン作成業務が大幅短縮。本来業務へ集中

来比8分の1になったことで、利用者さんとの対話時間の充実など、本来業務に集中することができるようになったといえます。
 今後同社では、利用者さんより良い関係を構築し、適切なケアができるソフトの開発を行い、質の高い介護支援へとつなげていく予定です。

一方、AIを用いた障がい者向けケアプラン作成支援ソフト「パッチリ」の業界初の開発にも成功。
 特にケアプラン策定で重要なアセスメント（適切なケアのために必要な評価基準）を設定することで、より利用者さんの介護ニーズに則したケアプランの作成が可能になりました。初回のケアプラン作成所要時間が従

質を高めるため、社内の連絡事項をすべてチャットツールに統一し、月1回のミーティングもクラウドツールに切り替え、会議中リアルタイムで議事録を取れるような体制に移行。
 結果、早い決定スピードの実現に加え、従来かかっていた印刷費用が10分の1に。週間では1人当たり10時間の作業時間の削減が実現。介護の世界では勤務時間がそれぞれ異なるため、重要事項の伝達が難しい側面があったといえますが、チャットツールの導入により各人の都合の良いタイミングで同じ情報の

ものの、その1回だけでは社内業務の遂行に関わる重要な決定事項が決めきれずに先延ばしになるという課題もありました。
 もう1つの課題は利用者さんの増加に伴い、介護のケアプラン作成が業務の大きな負担になっていったことです。丁寧なプラン作成を行いたいというケアマネジャーの思いを結実するためにも、ケアプラン作成の業務負担の軽減が望まれました。
コミュニケーションの課題をDX化で解決！
 そこでコミュニケーションの